

おさかな牧場「シーロード八幡浜」の指定管理者候補者について

施設所管課より施設の概要と指定管理者候補者の説明

○平成 26 年度以降の施設のあり方の検討

・施設の老朽化や経営状況等を踏まえて、釣堀事業、直販事業、レストラン事業を廃止、海面掛け出し駐車場の使用禁止などの大幅な見直しを行い、外釣り事業だけに業務規模を縮小することで、指定管理料を 1,336 万円から大幅に減額して管理業務の継続を図る。指定期間は 5 年間から 3 年間に短縮し、今後の運営状況を踏まえて次回の方向性を検討する。

○非公募とする主な理由

・市の数少ないレジャー施設であるため、事業規模を縮小してでも運営を継続したい。
・現在の指定管理者は市が出資する第 3 セクターであり、14 年間外釣り事業や弁当配達事業などの新規事業に取組み、年間 2 万人の集客を維持してきた。会社を設立した趣旨や会社の経営内容は施設と密接な関係にあるため、非公募で指名することが妥当だと考えている。

【主な意見・質疑】

委員：指定管理料の減額は理解できるが、施設の廃止も検討していいのではないかと。

委員：イクスや駐車場の補修には高額な費用が発生するため、事業規模を厳しく見直して指定管理料が約 1 千万円減額された。昨年度の外釣りは 6,600 人と着実に増えており、観光施設として定着しつつある。

委員：準公営企業のような駐車場施設の場合と観光施設では考え方が少し異なる。

委員：施設はとても立派であり、市外の客も多いので外釣り事業は伸びしろがあると思う。

委員：新たな修繕など高額な経費が発生することもあるのではないかと。

委員：施設を廃止しても防波堤については市が維持管理しなければならないため、修繕費用は負担しなければならない。

委員：八幡浜市はみかんと魚のまちなので無理に結論を急がずに、3 年間かけて検討する方が良いと思う。

【結論】

その他に意見はなく、「宇和海文化都市開発株式会社」を指定管理者候補者とするということについて異論は無いということでした。